

シルバ－ 江田島



創刊号

平成5年7月10日

江田島町
シルバ－
人材センター



創刊のことば

理事長

山佐 一男

好むと、好まざるとにかかわらず必ずやってくる高齢化社会の対策として平成二年一月十七日に一一一名の会員で「江田島町高齢者能力活用協会」を発足いたしました。

その後、平成四年十月二十日に社団法人「江田島町シルバ－人材センター」として発展的に出発いたしました。

そこで、これを機会に広報紙「シルバ－江田島」を発刊することにしたしました。

この広報紙は人材センターの活動状況、作業内容等を広く紹介するとともに会員相互間のコミュニケーションの場として役立たせたいと願っています。

お蔭様で、会員数も一八三名に増加し、業績も年間三五〇〇万円を超えることができました。

これも町当局をはじめ皆様方の物心両面からなるご援助の賜と思えます。

心から厚くお礼を申し上げます。われわれ一同は今後も高齢者の「生きがい」と「社会参加」を求めて一生懸命に頑張りたいと思いますので、よろしく願います。

「シルバー・えたじま」
創刊号の発刊によせて

江田島町長 二井利美



「シルバー・江田島」の創刊号が上梓され、関係者の皆さんと共に心からおよろこび申し上げます。

平成二年一月に発足した江田島町能力活用協会は大きな業績の中、発展的解消をもって平成四年十月社団法人「江田島町シルバー人材センター」として会員数百六十余名を擁する一大福祉活動の拠点の場として大きく飛躍することになったわけですが、このことは、申すまでもなく山佐理事長をはじめ、事務局職員はもとよりこのセンターをこよなく愛される会員皆様のご協力の賜であり町としても全面的なご支援を惜しまない決意です。

幸いに会員の皆様におかれては、永年培ってきた知識・経験・あらゆる分野の人材が豊富なことも、江田島シルバーの強い特色でもあります。ふるさと交流館を拠点施設として新たな事業の開拓をはじめ、安全で楽しい就業の場として発展されんことを願ってやみません。

発刊にあたり、会報が愛され、親しまれ皆様のよき相談相手として活用されることをお祈り申し上げごあいさついたします。

生きがいと社会参加を

平成五年度通常総会おわる

第二回通常総会は五月三十一日、町役場大会議室で開催されました。

江田島町より町長、町議会議長、福祉保健課長が来賓として出席、一八一名の会員中七〇名出席、委任状六六名で総会は成立しました。

山佐理事長のあいさつ、来賓の祝辞、祝電披露のあと議長選出に移り総会議長に小松 貢氏を選出して議事にはいりました。

第一号議案は平成四年度の事業実績報告。その概要は

会員数が一六七名。内訳は男〇九三、女〇七四名で、これは町の六〇

才以上の人口の四、四％にあたります。(平成五年三月三十一日現在)

また、事業規模も拡大し、受注高契約件数ともに昨年度の二倍になってきました。

(表参照)

これは、町当局のご援助もさることながら、会員の社会参加意欲の高まりがこの数字となったものといえ

公共と民間の割合 (受注、契約高)

区 別	受注件数	割 合	契約高 (千円)	割 合
公 共	190	39.4%	9,356	56.7%
民 間	292	60.6%	7,147	43.3%
計	482	100%	16,503	100%

就業実績

	計 画	実 績
受 注 件 数	220件	482件
就業延人員	2,200人	4,213人

職群別の内訳

職 群	件 数	就 業 延 人 員
技術・技能群	257 (90)	1,131 (450)
事務・管理群	24 (10)	657 (100)
折衝外交群	12 (0)	494 (0)
軽 作 業 群	170 (100)	1,681 (1,550)
サ ー ビ ス 群	19 (20)	150 (100)
合 計	482 (220)	4,213 (2,200)

注：() 内は計画数

- 安全就業は、労働の基本です。常に健康管理に努めましょう。
- ◎ 服装・履物は作業に合ったものを着用すること。
- ◎ 軽く体操をして、体をほぐしてから作業しましょう。
- ◎ 作業現場に着いたら、周囲の状況を確認しましょう。
- ◎ 作業環境は、常に整理整頓に心がけましょう。
- ◎ 機械・器具類は正確に、安全に取り扱しましょう。
- ◎ 共同作業では、合図・連絡を正確にやりましょう。
- ◎ 仕事場への行き帰りは、交通安全に気をつけましょう。

労働安全について

なお、藤永会員より安全対策についての質問と、危険な作業には配分金の割増を考えたらの要望があり山佐理事長からの回答が了承されました。

副理事長	板垣宝潤
常務理事	森修一
理事	平木重己
同	吉田道義
同	山本康秀
同	岡本光子
同	土手正二
同	山佐 勇
同	村井義郎
同	山本数美
監 事	竹本輝雄
同	牛尾芳貞

仲間とともににはたらく

中央公民館

公民館を訪ね、居所を聞きますと「今、そこにいたのに……」とわざわざさがしてくれました。

三人は自転車置場のまわりの除草で中でした。

「お部屋やトイレの掃除が午前中で終わったので、草とりを始めたところですよ。」

「二時半までに老人クラブの人の入浴が終わります。二時から二時半までに湯のみを洗い、そのあと浴場の掃除にかかります。」

私がカメラをむけると、

「写真をとるんじゃないって……」

と張りのある声。

血色もよく、とてもお元気に見えました。



大須小学校

大須小学校を訪ねた

のは二時前、日ざしのかなりきつい日でした。

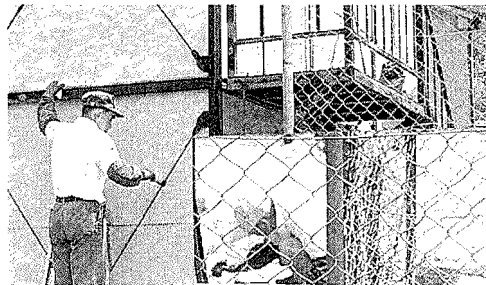
校舎から少し離れたところにある道路ぎわの倉庫の塗装をしていく姿がすぐ目につきました。

「昨日は隣りの消防分団の建物。こうやって、江田島じゅうをまわっています。」塗装の手を休めないで話してくれました。

「気を使うのは二階の手すりなど高い所。また、サビのつきやすいところは特に気をつけて塗るようにしています。」

「仕事は九時から四時まで。今はいいけど、真夏の日中の作業は大変です。」

倉庫の壁面、階段とそれぞれ手わけての塗装作業でした。



大原浄水場

作業は浄水池の汚泥の除去、私が訪ねた時は土手の草刈の最中でした。

「汚泥の除去が早く終わったので、草刈りをしています。」

草刈機のエンジンをとめ、話してくれました。

「この池にゴリが四・五匹いたので、きれいにした方の池に放してやりました。上の方に滝があり、滝壺にゴリと亀がいました。奥小路の貯水池にはいなく、江田島にはもうゴリはいないと思っていたのに、驚き、嬉しくなりました。」

「仕事に出ることで仲間もふえ、健康にもよく、それに、いろんなと

第二の人生は

シルバー人材センター会員で

定年退職して最初に考える事は、三十何年一生懸命働いたのだから、少しはのんびりしようということでした。

ところが、何もしないで、のんびりして満足するのは、一週間程度でした。

物の本によると、のんびりは、身体の為には放電となり、かえってマイナスになると記してあります。私も経験からこの説を肯定します。

そこで、シルバーセンターの会員になりました。そして、就いた作業は病院の庭木、鉢物等の管理と、町

ころをまわるので、昔を思い出せ、とても楽しいです。」

浄水場の管理者の河元さんは、

「シルバー

の人はとてもよく仕事をしてくれ本当にありがたく思っています。」

私が浄水池を去るとき、草刈機のエンジン音がまた響きはじめました。



(K生)

ふるさと交流館オープン

かねてから建設中の「ふるさと交流館」が四月十五日オープン、町長、議長をはじめ広島県企画振興部長、町内官公庁幹部約一五〇名のご出席のもと、盛大な祝賀会がおこなわれました。

この「交流館」の管理運営をわがシルバ－センターが受託し、

一、術科学校の案内

二、郷土料理の普及
事業を企画し、それぞれ専門班を設けて実施することにしました。特に術科学校のガイドについては、自衛隊の教育施設の見学案内についての制約事項があるため、学校から講師を招き、その点を十分把握したうえで案内業務を行うこととしています。

また、郷土料理として江田島の「手打ちうどん」を術科学校見学者に食べてもらい、大豆だしのうどんの味を広めていきたいと思っています。

何はともあれ、「ふるさと交流館」が江田島観光の拠点となり、町活性化の一助と高齢者の社会参加意欲の向上につながることを信じて努力していきたいと思っています。

みんなにとっても喜んでもらって…

オープンして二カ月余、交流館で働いているお二人に話を聞きました。
▽利用される方はどれくらいですか
平日は一〇〇人ぐらい。土、日は

一五〇から二五〇名ぐらいです。

▽売れるものは

テレホンカード、帽子、絵ハガキ、饅頭など。お勧めすることはめったにありませんが、時には土産を買いそびれたので送ってくださーいという注文が来たりします。

▽交流館についてお客さんの印象は

旅の人が多いので、見学時刻を待つ間ここを利用されます。時間待ちの場所があり、くつろげていい、とか、こういう町営の施設があつて、江田島はいいところですね。この次は友人を誘ってきます。など、とても評判がいいです。苦情を聞いたことはまだ一度もありません。
▽なにか注文は

もっと町の人が知ってくれ、気安

生活の知恵 農作業一口メモ

人間は長い間の生存の過程で、経験と失敗を重ねて、立証的に知り得たことを、生活の知恵として語り継いできました。科学的に進んだ現代でも立派に通用するものが、たくさんあります。

その例を、地区の老人から聞いた農作業についていくつか記します。
一、大根の種を蒔いて、三日までは何もするな。四日目には朝夕蒔け。

く立寄って休んでほしいと思います。そういう意味で、もっと目立つ宣伝を特に休憩は無料、お茶のサービスもすると宣伝してほしいと思っています。



●事務局だより●

今回は事務局の職員を紹介します。私たちは皆さんと一体となつてセンターの発展に努めたいと張りきっています。どうか、お気づきのことがありましたら、どしどし言ってください。よろしく願います。

職名	氏名	担当
事務局長	森 修一	経 理
主 任	下平 修子	交 流
主 任	池本 大作	館 務
職 員	角川 伍助	業 務
職 員	森 邦彦	経理事務
嘱 託	宇根川 進	安全就業
臨時職員	澤岡 澄子	販 売
臨時職員	小島美恵子	販 売

編集後記

はじめまして。私たち、六人が広報紙「シルバ－江田島」の編集を担当します。どうぞよろしく。

発行は年二回、夏と冬です。

題字は編集担当の新本さんの筆。

みなさんの働いている姿、子孫に伝えたい生活の知恵、健康、労働安全に関すること、みなさんの意見など紙面をいっぱいにしたいと思っています。投稿大歓迎。投稿された方には記念品を差上げます。

【広報委員】

岡本光子(長) 下谷源蔵(副)
平本重己、板垣宝潤、小松 貢、
新本清一

— 小松 貢 —